

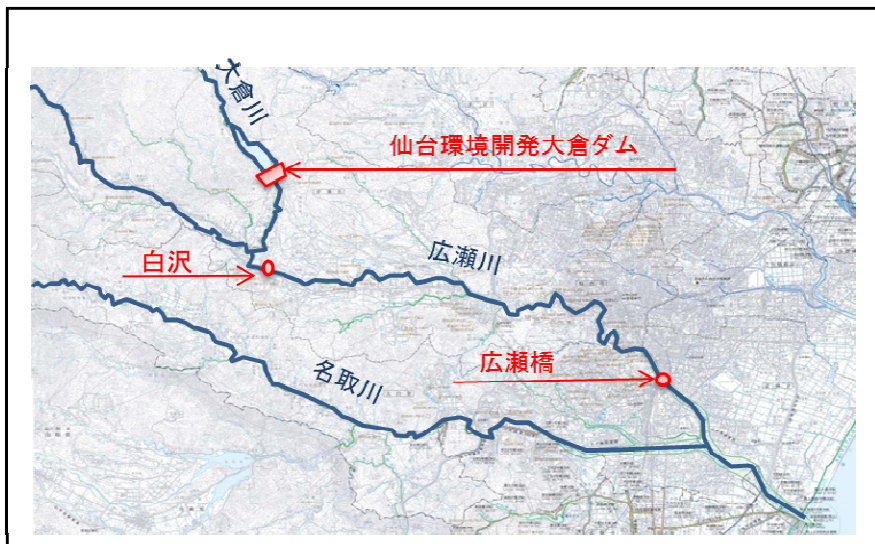
# 一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(令和元年10月11~13日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、令和元年10月12日~10月13日にかけて、台風19号に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が107mm**、**最大時間雨量では13mm**を記録しました。これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m<sup>3</sup>/sに対し、**321.80m<sup>3</sup>/s**を記録しました。

○今回の洪水調節により**最大流入時の97.9%(315.19m<sup>3</sup>/s)**を貯留し、下流河川の水位上昇を軽減しております。

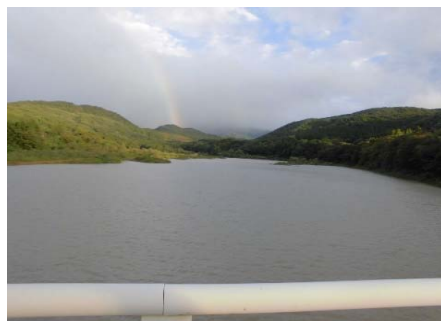
ダムの位置図



ダムの状況写真



貯水位 EL. 257.44m  
(洪水前 10月10日 9時30分)



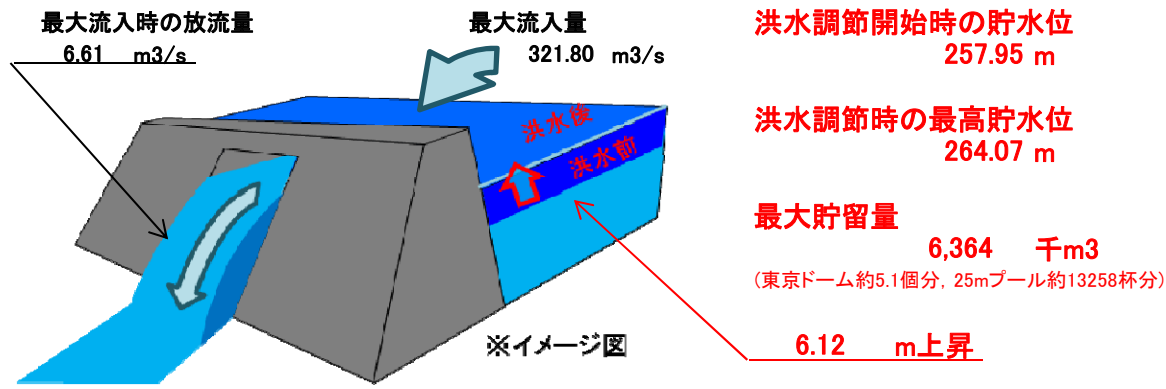
貯水位 EL. 264.27m  
(洪水後 10月13日 6時40分)

## 大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	12日 20時 30分	終了	13日 5時 20分
・ダム流域累計雨量		107 mm	( 12日 0時 ~ 13日 9時 )	
・最大時間雨量		13 mm	( 12日 21時 ~ 12日 22時 )	
・ダムへの最大流入量		321.80 m <sup>3</sup> /s	( 12日 23時 40分 )	
		(9位/70洪水)		
・最大流入時の放流量		6.61 m <sup>3</sup> /s		
・ダムによる最大調節量		315.19 m <sup>3</sup> /s	( 約 97.9% )	

## 大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **97.9%** をダムに貯留しました。



○大倉ダムの洪水調節等により、**広瀬川の白沢地点で約0.99m**、**広瀬橋地点で約0.53m**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



白沢水位観測所(洪水前 10月10日 10時50分)



白沢水位観測所(洪水後 10月13日 7時30分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果

